

LIFE
WITH
FREED

FREED

Press Information 2019.10.18



HONDA
The Power of Dreams

「いつでも」「どこでも」「だれでも」がさらに進化

日本全国、みんなの毎日にぴったりなミニバンとしてご好評をいただいていた「フリード」がさらに進化。さらに「いつでも」「どこでも」「だれでも」楽しく使えるミニバンに生まれ変わりました。

LIFE
WITH
FREED



新バリエーションの「FREED CROSSTAR」がデビュー

クロスオーバースタイルを採り入れた新バリエーション「FREED CROSSTAR」がデビュー。日常からアウトドアシーンまで、幅広いシーンを斬新なスタイリングが楽しいものにしていきます。



定評ある街中の軽快さはそのままに直進安定性がアップ

電動パワーステアリングのセッティングを熟成。街中での軽快な取り回しはそのままに、どこまでも走りたくなるような優れた直進安定性をより一層高めました。



いろんな暮らしにジャストフィットするデザインが進化

老若男女問わず生活にフィットする「いい顔」をよりシンプルで親しみやすい表情へと進化させました。カラーバリエーションも一新し、より幅広い好みに応えられるものとなりました。

燃費性能を進化させ遠出をもっと楽しく

環境性能に優れたエンジンを、細部に至るまでさらにリファイン。より実走行に近いシチュエーションでの燃費性能を追求し、街中から長距離ドライブまで、より快適に楽しめるようにしました。

より一層洗練を極めたデザイン

みんなの暮らしにぴったりな
「いい顔」が
より親しみやすく進化



シーグラスブルー・パール

「優しい」「強い」といった特定の方向を強調するのではなく、精悍な「いい顔」でご好評をいただいていたフリード。よりシンプルでかたまり感のあるフロントフェイスにリファインすることで、年齢、性別、家族構成などを問わず、どんな暮らしにもジャストフィットするデザインを目指しました。

カラーは新色のシーグラスブルー・パール、シルバーミストグリーン・パール、ミッドナイトブルービーム・メタリック、プレミアムクリスタルオレンジ・メタリックIIを含む9色をラインアップ。より幅広い好みに応えられるものとなりました。



シルバーミストグリーン・パール



ミッドナイトブルービーム・メタリック



プレミアムクリスタルレッド・メタリック



プラチナホワイト・パール



プレミアムクリスタルオレンジ・メタリックII



クリスタルブラック・パール



ルナシルバー・メタリック



スーパープラチナグレー・メタリック



さらなる心地よさと
くつろぎを
目指した空間

自然素材の心地よさが感じられるインテリア空間を、さらに洗練させました。本物の木のような外観と手触りでご好評をいただいていた木目調パネルには、新たに重厚感のあるウォールナット調を採用。一新したシート表皮とあいまって、より一層心地よく、くつろぎに満ちた室内空間に仕上げました。



フリードの新たな可能性を切り拓くFREED CROSSTAR



街でも アウトドアでも映える クロスオーバースタイル

サイズコンパクト、広さミニバンというフリードの魅力はそのままに、アウトドアシーンにも映えるクロスオーバースタイルをまとった「FREED CROSSTAR」を新たにラインアップに加えました。

専用のフロントグリル、前後バンパー、LEDフォグライト等を

装備したほか、専用デザインのルーフレール、アルミホイール、専用色のドアアウターハンドル、ドアミラーを採用。フリードのスタイリングに新たな可能性を提案します。



毎日の移動シーンを 豊かに彩る 専用アイテム

インテリアには、遊び心を表現したアイテムを配し、アウトドアの非日常感を表現。専用コンビシートは、汚れが目立ちにくいデジタルパターンのファブリックとプライムスムースを組み合わせたほか、インストルメントパネルには「CROSSTAR」専用のプライウッド調パネルを採用。アウトドアシーンはもちろんのこと、近所の移動にさえちょっとしたワクワクをプラスし、毎日を彩るインテリアに仕上げました。



さらに進化した環境性能

優れた環境性能をさらに向上

ガソリン車、ハイブリッド車とも、実際の走行シーンに近い状況で優れた燃費性能と環境性能を発揮できるよう、エンジン細部に至るまで徹底的にリファイン。心置きなくドライブを楽しめるエンジンへと進化させました。

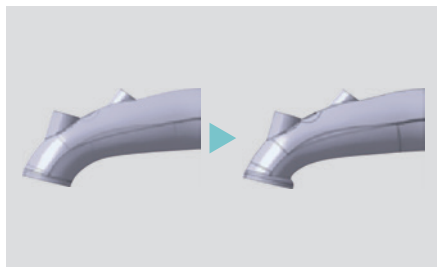


ハイブリッド専用技術

燃焼改善

インテークポートの高流動化

タンブル流を最適にすることでノッキングを抑制するとともに燃焼安定性を向上しました。



ノッキング抑制

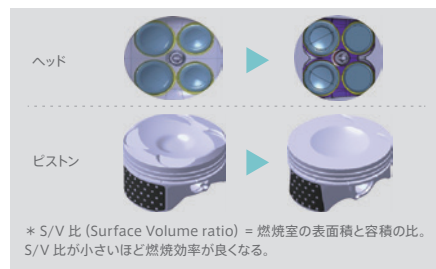
ナトリウム封入中空エキゾーストバルブ

エキゾーストバルブの冷却を強化し、ノッキングを抑制して燃焼の向上を図りました。

熱損失低減

燃焼室のコンパクト化

燃焼室の低S/V比*化により熱損失を低減し、燃焼の向上を図りました。

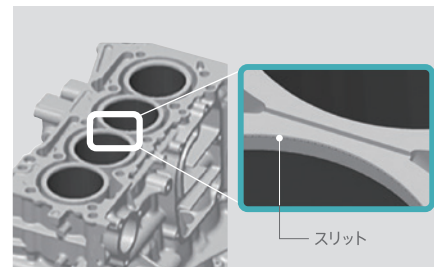


全モデル共通技術

軽量化

カムシャフト中空径の拡大

吸・排気のカムシャフト中空径をφ16mm→φ17mmと拡大し軽量化を図りました。



ノッキング抑制

スリット入りブロック軸間

ブロック軸間にスリットを入れることで軸間温度の冷却性能を強化。

フリクション低減

摺動部の平滑性向上

ピストンの摺動部は、スリーブ表面性状の平滑面をさらに増加。カムチェーンの摺動部は、テンション アーム/ガードの材料特性を改善し、摩擦係数を低減。

低排出ガス性能向上

触媒貴金属使用量の最適化

制御データの設定、触媒の仕様を最適化することで、触媒の早期活性化を実現。平成30年 排出ガス基準 75%低減という優れたクリーン性能を達成しました。

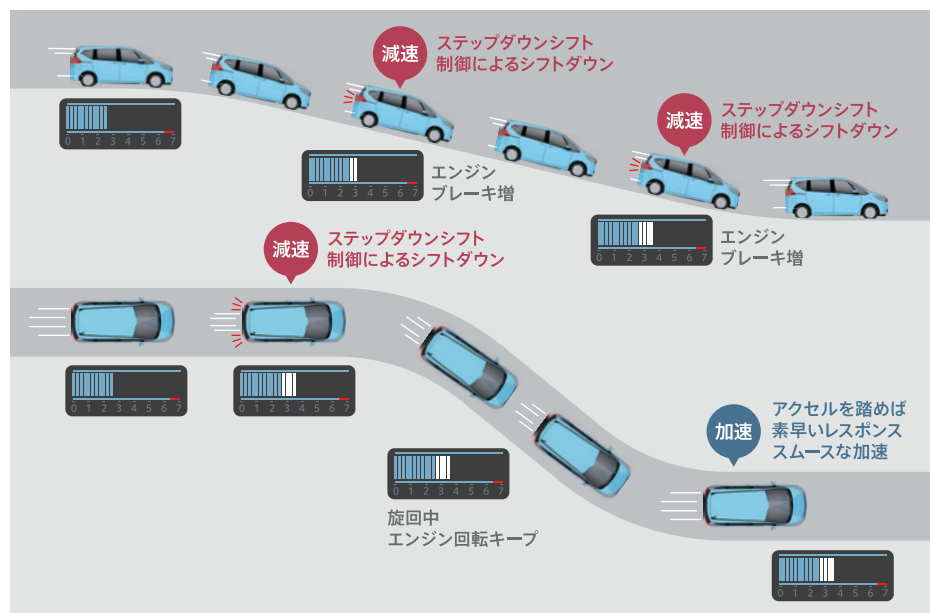


安心感を高めたドライビングフィール

誰でもエンジンブレーキを 有効活用できる ブレーキ操作 ステップダウンシフト制御

シフトレバーを操作することなく、ある一定以上のブレーキ操作だけで、エンジンブレーキを併用したスムーズな減速が行えるブレーキ操作ステップダウンシフト制御を新たに採用しま

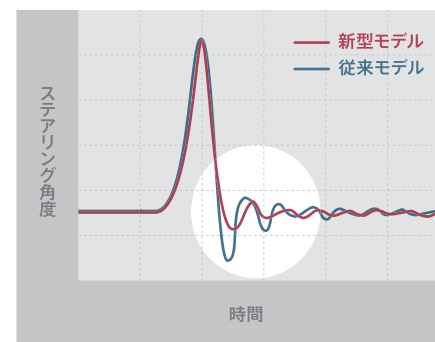
した。走行状況に応じたダウンシフト制御を行うとともに、エンジン回転を適切に保ち、運転がうまくなったかのような、なめらかな走りを可能にします。



街中の軽快感と 高速道路の安心感を 進化させた パワーステアリング制御

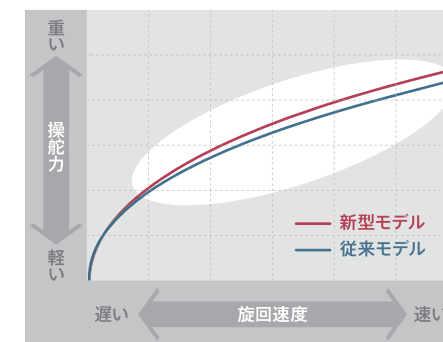
クイックなステアリングレスポンスが生み出す街中での軽快な走り、優れた直進安定性を両立させ、幅広いシーンでの安心感ある走りをご好評をいただいていたフリード。パワーステアリング

に新たな制御を取り入れることで、さらに軽快で安心感のあるステアリングフィールを実現しました。



ステアリング取れん性イメージ

旋回状態にあるステアリングから一気に手を離れた場合のステアリングの動き。新型モデルは短い時間で挙動が安定する。



旋回速度に応じたアシスト量変化イメージ

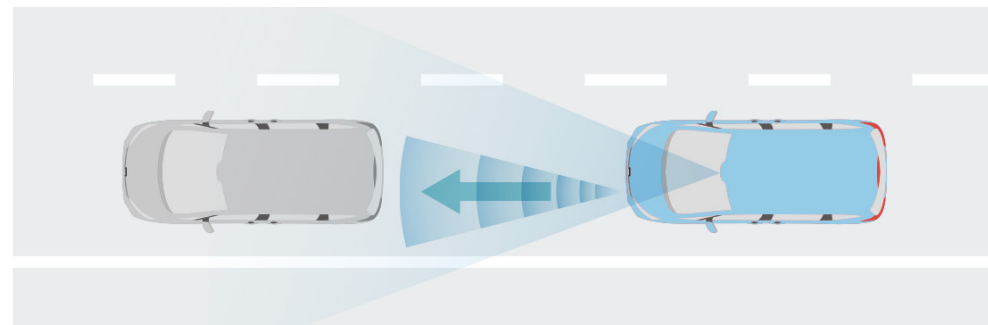
旋回速度が高まるにつれて、操舵力が重くなるように制御。新型モデルは、より手応えのある操舵フィールとしている。

いつでも、どこでも走りを見守ってくれる Honda SENSING

より人の感性に合った制御の ACC (アダプティブ・クルーズ・コントロール)

高速道路で前走車との間に適切な間隔を保ちながら走行が可能なACC(アダプティブ・クルーズ・コントロール)をバージョンアップ。前走車が車線変更し、設定した速度まで自動的に加速す

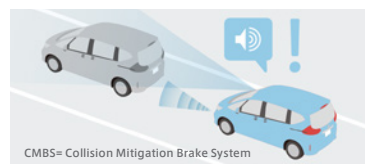
る際の加速フィーリングをさらにスムーズなものに変更し、より使いやすく、ドライバーの感性に近いシステムとしました。



Honda SENSING

衝突軽減ブレーキ <CMBS>

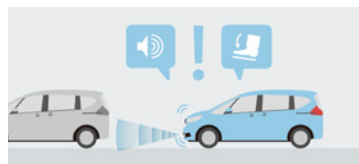
衝突を予測してブレーキをかけます。



CMBS= Collision Mitigation Brake System

誤発進抑制機能

誤って前へ急加速するのを抑えます。



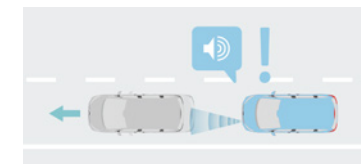
歩行者事故低減ステアリング

人に近づきすぎたら避けるようにします。



先行車発進お知らせ機能

前のクルマが進んだら知らせます。



標識認識機能

標識を常に見張って知らせます。



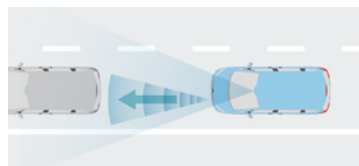
路外逸脱抑制機能

はみ出しそうとき車線内に戻すようにします。



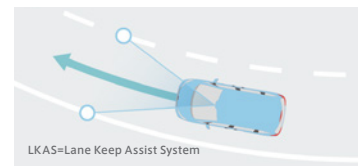
ACC (アダプティブ・クルーズ・コントロール)

ちょうどいい距離でついていきます。



LKAS (車線維持支援システム)

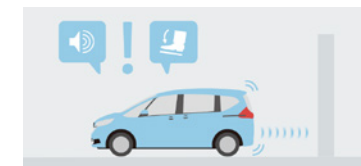
車線の中央を走れるようにします。



LKAS=Lane Keep Assist System

後方誤発進抑制機能

誤って後ろに急発進するのを抑えます。



NEW

■各機能の能力(認識能力・制御能力)には限界があります。各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。車両をご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。各システムは、いずれも道路状況、天候状況、車両状態等によっては、作動しない場合や十分に性能を発揮できない場合があります。■衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、約5km/h以上で走行中に自車との速度差が約5km/h以上ある前走車両や歩行者、または対向車両(二輪車や自転車等を除く)に対して衝突する可能性があるシステムが判断した場合に作動し、自動的に停止または減速することにより衝突回避や衝突被害の軽減を図ります。対向車両(二輪車や自転車等を除く)と歩行者に対しては、自車が約80km/h以下で走行中の場合に作動します。■誤発進抑制機能は、停車時や約10km/h以下で走行しているとき、自車のほぼ真正面の近距離に車両などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを踏み込んだ場合に、エンジンやモーターなどのパワーシステム出力を抑制し、急な発進を防止するとともに、音と表示で接近を知らせます。■歩行者事故低減ステアリングは、約10km/h-約40km/hで走行中に、システムが歩行者側への車線逸脱と歩行者との衝突を予測した場合に、ステアリング操作による回避を支援します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている

場合は作動しません。■路外逸脱抑制機能は約60km/h-約100km/hで走行中に、路外への逸脱またはシステムが路外への逸脱を予測したとき、作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者が加速やブレーキ操作、急なステアリング操作を行っているときシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■ACCは、約30km/h以上で作動します。急なカーブや加速・減速の繰り返しが少ない、高速道路や自動車専用道路などを運転するときに使用してください。■LKAS(車線維持支援システム)は、約65km/h以上で作動します。運転者のステアリング操作に代わるものではありません。運転者がステアリングから手を放した状態や、運転者が意図的に車線を越えるようなステアリング操作をしているときシステムが判断した場合、ウインカーを作動させている場合は作動しません。■先行車発進お知らせ機能は、先行車との車間距離が約10m以内で、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。■標識認識機能は最高速度、はみ出し進行禁止、一時停止、車両進入禁止の標識を認識し、マルチインフォメーション・ディスプレイに表示します。一時停止、車両進入禁止は約60km/h以下で作動します。自車の単眼カメラから見て、車両等の陰になった道路標識は認識することができません。

主要装備・主要諸元

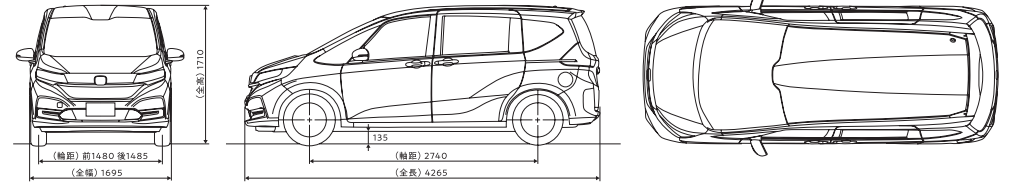
主要諸元

タイプ	FREED												FREED+							
	HYBRID G Honda SENSING		HYBRID CROSSTAR Honda SENSING		B Honda SENSING		G Honda SENSING		CROSSTAR Honda SENSING		HYBRID G Honda SENSING		HYBRID CROSSTAR Honda SENSING		G Honda SENSING		CROSSTAR Honda SENSING			
駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	
乗車定員	6名	7名	6名	6名	6名	6名	7名	6名	7名	6名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	5名	
車名・型式	1.5L i-VTEC+H-DCD ホンダ6AA-G87☆ ホンダ6AA-G88☆ ホンダ6AA-G87☆ ホンダ6AA-G88☆				1.5L i-VTEC ホンダ6BA-G85★ ホンダ6BA-G86★ ホンダ6BA-G86 ホンダ6BA-G85★ ホンダ6BA-G86				1.5L i-VTEC+H-DCD ホンダ6AA-G87☆ ホンダ6AA-G88☆ ホンダ6AA-G87☆ ホンダ6AA-G88☆				1.5L i-VTEC ホンダ6BA-G85★ ホンダ6BA-G86 ホンダ6BA-G85★ ホンダ6BA-G86							
トランスミッション	7速オートマチック				無段階変速オートマチック(トルクコンバーター付)				7速オートマチック				無段階変速オートマチック(トルクコンバーター付)							
全長(m)	4.265												4.295							
全幅(m)	1.695												1.710							
全高(m)	1.710												1.735							
ホイールベース(m)	2.740												2.740							
トレッド(m) 前/後	1.480/1.485												1.480/1.485							
最低地上高(m)	0.135												0.135							
車重(kg)	1410	1430	1500	1430	1510	1340	1350	1360	1430	1440	1360	1420	1500	1440	1510	1360	1430	1370	1440	
最大車両重量(kg)※	1430	1440	1520	1450	1530	1340	1370	1380	1440	1470	1380	1460	1440	1510	1450	1520	1370	1450	1390	1460
客室内寸法(m) 長さ×幅×高さ	3.045/1.455/1.275				3.045/1.455/1.285				2.310/1.455/1.275				2.310/1.455/1.285							
原動機型式	LEB-H1				L15B				LEB-H1				L15B							
エンジン型式	LEB				L15B				LEB				L15B							
エンジン種類・シリンダー数及び配置	水冷直列4気筒横置																			
弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2																			
総排気量(L)	1.496																			
内径×行程(mm)	73.0×89.4																			
圧縮比	13.5				11.5				13.5				11.5							
燃料供給装置形式	電子制御噴射燃料式(ホンダPGM-FI)																			
使用燃料種類	無鉛レギュラーガソリン																			
燃料タンク容量(L)	36	53	36	53	36	36	53	36	53	36	53	36	53	36	53	36	53	36	53	
電動機(モーター)	電動機型式/電動機種類				H1/交流同期電動機				H1/交流同期電動機				—							
エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)				81[110]/6,000				95[129]/6,600				81[110]/6,000				95[129]/6,600			
	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)				134[13.7]/5,000				153[15.6]/4,600				134[13.7]/5,000				153[15.6]/4,600			
電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)				22[29.5]/1,313-2,000				—				22[29.5]/1,313-2,000				—			
	最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)				160[16.3]/0-1,313				—				160[16.3]/0-1,313				—			
燃料消費率(国土交通省審査値)	28.9	27.4	26.0	27.4	26.0	19.0	19.0	19.0	16.4	19.0	16.4	28.0	26.0	27.4	26.0	19.0	16.4	19.0	16.4	
CO ₂ 排出量(km/L)	274	260	274	260	170	170	170	156	170	156	20.8	19.8	20.8	19.8	17.0	15.6	17.0	15.6		
燃料消費率(国土交通省審査値)	20.8	20.8	19.8	20.8	17.0	13.2	13.2	12.2	13.2	12.2	17.7	17.0	17.7	17.0	13.2	12.2	13.2	12.2		
WLTC km/L	17.7	17.7	17.7	17.7	17.0	17.6	17.6	16.2	17.6	16.2	21.5	21.3	21.5	21.3	17.6	16.2	17.6	16.2		
市街地モード(WLTC-L) km/L	21.5	21.5	21.3	21.5	21.3	18.9	18.9	17.2	18.9	17.2	21.9	20.3	21.9	20.3	18.9	17.2	18.9	17.2		
郊外モード(WLTC-M) km/L	21.9	21.9	20.3	21.9	20.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
高速道路モード(WLTC-H) km/L	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
主要経済向上対策	ハイブリッドシステム・アクティブノイズキャンセリング、可変バルブタイミング、アイドルストップ装置、自動解放変速機(CVT)、電動パワーステアリング				直噴エンジン、可変バルブタイミング、アイドルストップ装置、自動解放変速機(CVT)、電動パワーステアリング				ハイブリッドシステム・アクティブノイズキャンセリング、可変バルブタイミング、アイドルストップ装置、自動解放変速機(CVT)、電動パワーステアリング				直噴エンジン、可変バルブタイミング、アイドルストップ装置、自動解放変速機(CVT)、電動パワーステアリング							
最小回転半径(m)	5.2																			
動力用主電池	リチウムイオン電池/48				—				リチウムイオン電池/48				—							
変速機	CVT				—				CVT				—							
変速比	7AT				—				7AT				—							
減速比	5.937				5.436				5.937				5.436							
ステアリング装置形式	ラックピニオン式(電動パワーステアリング仕様)																			
タイヤ(前・後)	185/65R15 88S																			
主ブレーキの種類・形式	前:油圧式ベンチレーテッドディスク 後:[ハイブリッド]油圧式ディスク [ガソリン]油圧式ディスク/ブレーキ																			
サスペンション方式	前:マックファーソン式 後:[FF車]車軸式 [4WD車]トーションバー式																			
スタビライザー形式	前:トーションバー式 後:[FF車] — [4WD車]トーションバー式																			

〈 〉内はメーカーオプションの[1列目シート]用i-サイドエアバッグシステム+i-サードカーテンエアバッグシステム装着車。
 ※メーカーオプションを組み合わせて装着した場合の最大車両重量です。
 ■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 ■WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 ※この車両は、自動車重量税、自動車税、車庫料は、自動車重量税の軽減措置が受けられます。〔重量税は2021年4月30日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。〕また、CO₂の削減は、環境性能制が非課税となり、2021年3月31日までの新車登録が対象となります。
 ■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。
 ■REED、アレックス、エアアシスト、プライムスームPrime Smooth、G-CON、Honda SENSING、i-DCD、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PCM-FI、VTECは本田技研工業株式会社の特許です。
 ■Bluetoothは米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
 ■HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
 ■Apple CarPlay、iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 ■OSは、米国および他の国々で登録されたCisco Systems, Inc.の商標です。
 ■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
 ■プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterは、シャープ株式会社の商標です。
 ■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図

単位: mm フリード HYBRID G・Honda SENSING (FF)



環境仕様

「平成30年排出ガス基準 75%低減レベル」認定車
 CO₂排出量 185g/km以下
 CO₂排出量 185g/km以下
 CO₂排出量 185g/km以下
 CO₂排出量 185g/km以下
 CO₂排出量 185g/km以下

基礎情報	車種型式	6BA-C85		6BA-C86		6AA-C87		6AA-C88	
		型式/総排気量(L)	L15B/1.496	L15B/1.496	L15B/1.496	LEB-H1/1.496	L15B/1.496		
駆動方式	駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
変速機	変速機	CVT	CVT	CVT	CVT	CVT	CVT	CVT	CVT
燃料消費率*1	燃費(km/L)	19.0	16.4	28.0	27.4	26.0	26.0	26.0	26.0
	CO ₂ 排出量(g/km)(燃費からの換算値)	122.2	141.6	82.9	84.7	89.3	89.3	89.3	89.3
	燃費(km/L)*2	17.0	15.6	20.8	19.8	17.7	17.7	17.7	17.7
	WLTC km/L	17.6	16.2	21.5	21.3	21.3	21.3	21.3	21.3
環境性能情報	適合規制/認定レベル	平成30年排出ガス基準75%低減 WLTCモード							
	CO	115							
	NMHC	0.025							
	NOx	0.013							
適合規制レベル	参考	九都府市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)		九都府市指定低公害車の基準に適合(平成21年基準)		九都府市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)		九都府市指定低公害車の基準に適合(平成30年基準)	
エアコン冷媒	使用量	R134a/1430g*4							
車室内VOC	参考	400g							
環境負荷削減	鉛	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)							
	水銀	自工会2006年目標達成(1996年使用量+5の1/10)							
	六価クロム	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止)*6							
	カドミウム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)							
環境リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100%以上の樹脂部品全て							
	リサイクルし難い材料*7を使用した部品	ウインドウモール類、バンパーフェースなどの内外装部品							
	再生材を使用している部品	—							
	リサイクル可能な部品	車全体で95%以上*8							
その他	参考	グリーン購入法適合状況							

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 *3 GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までL-GWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められています。*5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(パッケージを除く)。*6 交通系に上乗せする必要がある部品の換算使用量を除く。*7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。*8 「新製品のリサイクル可能な定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2019年10月現在のものです。